

標準施工仕様

※1:時間を厳守してください。※2:記載の塗布量を塗布できるまで施工してください。
 ※3:ミルコンMS-2は、立ち上がり部を施工するためにリガードベースに混合する増粘剤です。リガードベースを攪拌しながら、添加してください。

【トップコート工法】

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (23°C)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	リガードプライマー	16kg	—	16L (リガードシンナー)	0.10kg/m ²	1	—	2時間以上 6時間以内※1	—	ハケ/ローラー
上塗	リガードトップ A液	15kg	5	0~3.6L (リガードシンナー)	0.20kg/m ²	1	—	—	歩行可能:24時間以上 養生期間:48時間以上	ハケ/ローラー
	リガードトップ B液	3kg	1							

【ウレタン塗膜防水工法 ベランダ下に居住スペースがない場合(密着工法1mm厚)】

●平場仕様

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (23°C)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	リガードプライマー	16kg	—	—	0.20kg/m ²	1	—	3時間以上 12時間以内	—	ハケ/ローラー
防水材	リガードベース	18kg	—	—	1.3kg/m ²	※2	16時間以上 72時間以内	16時間以上 72時間以内	—	コテ/ゴムベラ/ ローラー
上塗	リガードトップ A液	15kg	5	0~3.6L (リガードシンナー)	0.20kg/m ²	1	—	—	歩行可能:24時間以上 養生期間:48時間以上	ハケ/ローラー
	リガードトップ B液	3kg	1							

●立上り仕様

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (23°C)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	リガードプライマー	16kg	—	—	0.20kg/m ²	1	—	3時間以上 12時間以内	—	ハケ/ローラー
防水材	リガードベース (ミルコンMS-2※3 重量比5%)	18kg	—	—	1.3kg/m ²	※2	16時間以上 72時間以内	16時間以上 72時間以内	—	コテ/ゴムベラ/ ローラー
上塗	リガードトップ A液	15kg	5	0~3.6L (リガードシンナー)	0.20kg/m ²	1	—	—	歩行可能:24時間以上 養生期間:48時間以上	ハケ/ローラー
	リガードトップ B液	3kg	1							

【ウレタン塗膜防水工法 ベランダ下に居住スペースがある場合(密着工法2mm厚)】

●平場仕様

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (23°C)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	リガードプライマー	16kg	—	—	0.20kg/m ²	1	—	3時間以上 12時間以内	—	ハケ/ローラー
防水材 (1回目)	リガードベース	18kg	—	—	1.3kg/m ²	※2	16時間以上 72時間以内	—	—	コテ/ゴムベラ/ ローラー
防水材 (2回目)	リガードベース	18kg	—	—	1.3kg/m ²	※2	16時間以上 72時間以内	16時間以上 72時間以内	—	コテ/ゴムベラ/ ローラー
上塗	リガードトップ A液	15kg	5	0~3.6L (リガードシンナー)	0.20kg/m ²	1	—	—	歩行可能:24時間以上 養生期間:48時間以上	ハケ/ローラー
	リガードトップ B液	3kg	1							

●立上り仕様

工程	製品名	荷姿	調合比	希釈	塗布量	塗回数	施工間隔 (23°C)			塗装法
							工程内	工程間	最終養生	
下塗	リガードプライマー	16kg	—	—	0.20kg/m ²	1	—	3時間以上 12時間以内	—	ハケ/ローラー
防水材 (1回目)	リガードベース (ミルコンMS-2※3 重量比5%)	18kg	—	—	1.3kg/m ²	※2	16時間以上 72時間以内	—	—	コテ/ゴムベラ/ ローラー
防水材 (2回目)	リガードベース (ミルコンMS-2※3 重量比5%)	18kg	—	—	1.3kg/m ²	※2	16時間以上 72時間以内	16時間以上 72時間以内	—	コテ/ゴムベラ/ ローラー
上塗	リガードトップ A液	15kg	5	0~3.6L (リガードシンナー)	0.20kg/m ²	1	—	—	歩行可能:24時間以上 養生期間:48時間以上	ハケ/ローラー
	リガードトップ B液	3kg	1							

●製品については下記までお問合せください。

ver.202005

FRP防水のベランダ専用 改修工法



リガードシリーズ

FRP防水のベランダの防水性を
保護・再生し
お住まいを水から守ります。



強溶剤形二液ベランダ専用ウレタン系上塗材

リガードトップ

無溶剤形一液ベランダ専用ウレタン系塗膜防水材

リガードベース

強溶剤形一液ベランダ専用ウレタン系下塗材

リガードプライマー



製造・販売元 **株式会社アステックペイントジャパン**

福岡本社 / 〒811-2233 福岡県糟屋郡志免町別府北4-2-8
 東京営業所 / 〒102-0071 東京都千代田区富士見1-6-1 10F
 大阪営業所 / 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6-5-3 B1
 名古屋営業所 / 〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦1丁目13-19 3F
 沖縄営業所 / 〒901-2201 沖縄県宜野湾市新成2-39-3-102

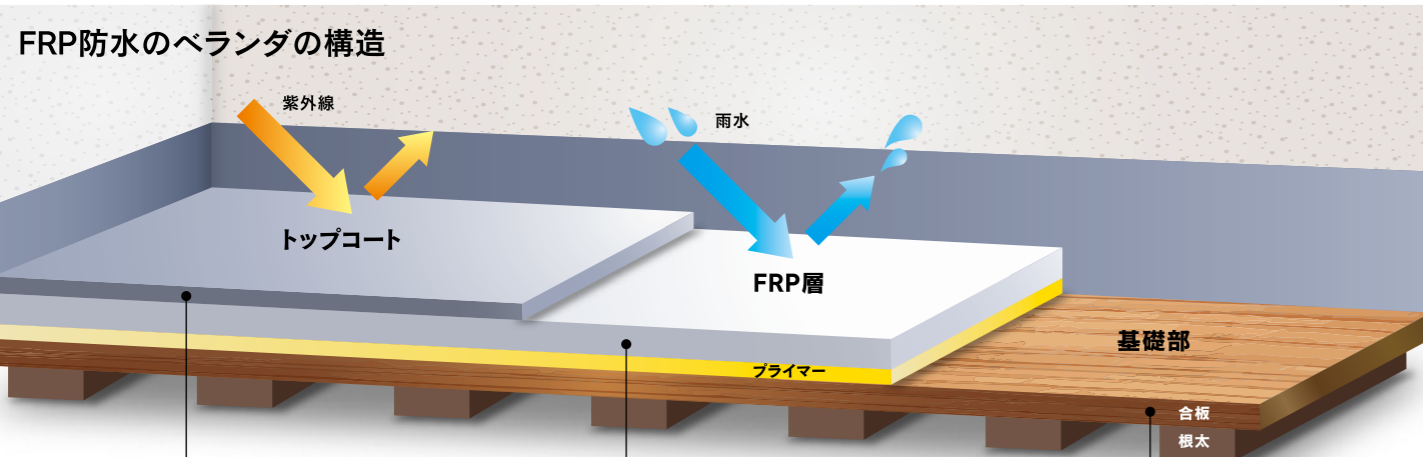
astec-japan.co.jp

リガードシリーズはFRP防水のベランダの防水性を保護し、大切なお住まいの長寿命化に貢献します。



ベランダは雨水が溜まり劣化しやすいため、5～8年に一度のメンテナンスが必要です。

ベランダは、建物の中でも最も水が溜まりやすい場所です。そのため、新築の木造住宅のベランダの大半はFRP防水が施されています。しかし、紫外線や雨水にさらされているうちに、ベランダのFRP防水は劣化します。そのまま放置していると、雨漏りや建物自体の劣化に繋がる可能性もあるため、定期的なメンテナンスが必要です。



FRP層を紫外線から守る層
メンテナンスの周期が5～8年程度のため、定期的な塗り替えが推奨されます。

基礎部を水から守る層
トップコートが劣化し、紫外線にさらされ続けると、FRP層が劣化し、強度と防水性の低下に結びつきます。

ベランダの骨組み部分
ベランダの骨格となる木材部分。トップコート・FRP層が劣化し、水にさらされ続けると漏水する可能性があります。

FRP防水のベランダのメンテナンスのサイン

※屋根の有無や日当たりなどの曝露環境、および清掃やダメージの有無などにより、劣化症状の発生時期は変動します。

初期症状
目安：新築から約5～10年程度
「汚れ」や「色ムラ」、
「藻の発生」などが見られます。



中期症状
目安：新築から約10～15年程度
トップコートの「ひび割れ」や「剥離」
などが見られます。



末期症状
目安：新築から約15～20年程度
「防水層の劣化」などが見られ、
雨漏りなどに繋がる可能性があります。



トップコート工法

ウレタン塗膜防水工法

防水工事専門業者に依頼

FRP防水のベランダにメンテナンスのサインが見られる場合は、早期の修繕がおすすめです。

製品情報



リガードトップ

強溶剤形二液ベランダ専用ウレタン系上塗材

【対応素材】ベランダ・バルコニー（FRP防水下地）
【試験結果】■硬度・付着性 全て社内試験規格合格（参考試験方法：JIS-K-5600 塗料一般試験方法）■摩耗性 社内試験規格合格（参考試験方法：JIS-K-7204 プラスチック・摩耗輪による摩耗試験方法）■衝撃性・耐水性・耐アルカリ性・耐酸性・凍結融解サイクル・すべり抵抗性・屋外暴露 全て合格※社内試験による
【製品データ】
荷姿：18kgセット（A液：15kg、B液：3kg）
6kgセット（A液：5kg、B液：1kg）
色：グレー
可使用時間：4時間以内（23℃）



リガードベース

無溶剤形一液ベランダ専用ウレタン系塗膜防水材

【対応素材】ベランダ・バルコニー（FRP防水下地）
【試験結果】■JIS-K-5601 塗料成分試験方法 固形分合格 ■JIS-A-6021 建築用塗膜防水材 硬化物密度・引張性能・引裂性能・加熱伸縮性能・劣化処理後の引張性能・伸び時の劣化症状・固形分・硬化物密度 全て合格 ■外観・粘度 全て合格※社内試験による
【製品データ】
荷姿：18kg
色：グレー



リガードプライマー

強溶剤形一液ベランダ専用ウレタン系下塗材

【対応素材】ベランダ・バルコニー（FRP防水下地）
【試験結果】■容器の中の状態・作業性・外観・粘度 全て社内試験規格合格（参考試験方法：JIS-K-5600 塗料一般試験方法） ■JIS-K-5601 塗料成分試験方法 塗膜の状態・加熱残分 全て合格 ■付着強さ 社内試験規格合格（参考試験方法：JIS-A-5536 床仕上げ材用接着剤） ■密度 合格※社内試験による
【製品データ】
荷姿：16kg、4kg
色：透明

【下地調整】●既存FRP防水下地は表層のワックス成分除去の為、電動工具等を用いて研磨してください。●下地研磨後、アセトンを用いて拭取りを行ってください。●砂やゴミ、ホコリおよび油脂類が付着している場合は完全に除去してください。●下地が乾燥していることを確認して次の工程に入ってください。

【施工上の注意】●施工にあたっては、カタログ及び、製品ラベルに記載の注意事項をよく読んでご使用ください。●パンフレット裏面に記載の数値は、標準的なものであり、素地の状態、形状、施工条件、気象条件などにより、多少の幅が生じます。●気温5℃以下、湿度80%以上の施工は避けてください。屋外施工では翌日までに、降雨、降雪が予想される場合は施工は避けてください。●材料は直射日光を避け、室温5℃以下、30℃以上にならない屋内で保管してください。●できるだけ皮膚に触れないように取扱っていただき、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、手袋などの保護具を着用してください。●換気を十分にを行い、ミストや蒸気を吸い込まないようにしてください。●溶剤系塗料の場合は、引火性がありますので、取扱いの際は火気に充分ご注意ください。

FRP防水のベランダのメンテナンスに最適なりガードシリーズ～ベランダの防水性を保護・再生します～

トップコート工法 紫外線から防水層を守り、防水性を保護します。

FRP防水のベランダの初期の劣化症状を放置していると、トップコートの保護性能が低下していきます。リガードトップは紫外線に強く、ベランダの表面をコーティングすることで、防水層を保護できます。リガードトップのメンテナンスの周期は5～8年のため、定期的な塗り替えが推奨されます。

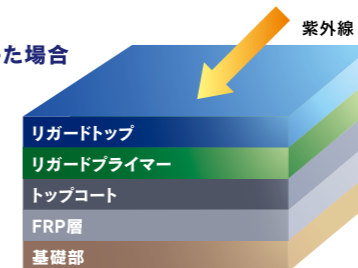
防水性の保護



リガードトップ

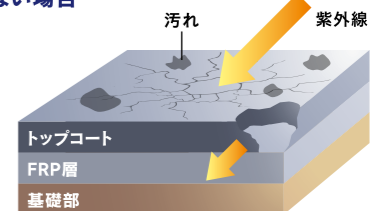
▶メンテナンスを行なった場合

リガードトップが紫外線から防水層を守ることによって、防水性を保護します。



▶メンテナンスを行わない場合

紫外線によりトップコートが破壊され、ひび割れや剥離などの劣化症状が発生します。



ウレタン塗膜防水工法 新たに防水層をつくり、防水性を再生します。

FRP防水のベランダの中期の劣化症状を放置していると、FRP層が劣化し防水性が低下します。防水性が著しく損なわれると、基礎部（合板・根太）まで水が浸入し、腐食してしまう危険性もあります。リガードベースは、水を通さない性質があるため、ベランダに塗装することで、防水層を保護するとともに、防水性を蘇らせます。

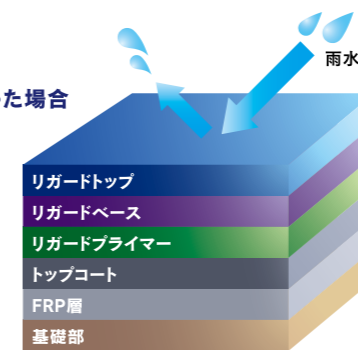
防水性の再生



リガードトップ リガードベース

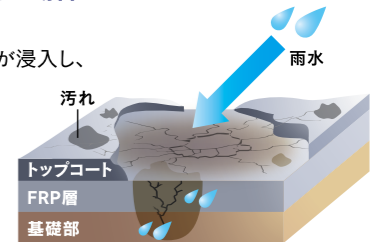
▶メンテナンスを行なった場合

新たな防水層が雨水の浸入を抑制し、ベランダを保護します。



▶メンテナンスを行わない場合

トップコートが剥離し、FRP層のひび割れから雨水が浸入し、基礎部の腐食や、雨漏りが発生する可能性があります。



防水塗装はベランダの美観を蘇らせます。

ベランダ防水塗装は、表面をコーティングすることで、ベランダの美しさを蘇らせることができます。

